



中村
なかむら

青史
せいし



概要

氏名

中村 青史

推薦団体

熊本県文化協会

主な活動地

熊本市、県内各地

地域文化活動部門

中村書史氏は、熊本大学教官時代から一貫して、熊本に縁のある文学者に関する作品の研究・普及や文化財の保存・保護に尽力されています。

夏目漱石、小泉八雲、徳永直の文学について熱心に研究し、特に、本県出身の徳永直の作品に光をあて、その文学者としての功績を広く顕彰する活動を行って来られました。

また、文化財や史跡等の保存・保護に熱心に取り組み、特に、夏目漱石旧居や小泉八雲旧居、「城下の人」の主人公である明治陸軍謀報員石光貞清の生家の保存に大

きく貢献されました。

さらに、地方文化や文化遺産の掘り起し活動の一環として、NPO法人ぐまもと文化振興会を設立し、総合文化雑誌「KUMAMOTO」を発刊されるなど、氏の活動は県内において大きな区響を呼んでいます。

現在も、講演・論文・著作等を通じて、郷土に縁のある文学者の活動やその足跡等を県民に広く普及し、本県の文化振興に大きく貢献されています。

これまでの主な活動歴

- 昭和五十四年 熊本の「徳永直の会」代表世話人
論文「徳永直における虚と實」発表
- 昭和五十六年 論文「太陽のないう街」発表
- 徳永直の文学碑の建立に尽力
- 平成八年 夏目漱石来熊本百年国際シンポジウム
実行委員長として活躍
- 平成十一年 徳永直生誕百周年祭実行委員会委員長
向山校区歴史文化保存会会長として石
光貞清生家保存運動に尽力
- 平成十六年 小泉八雲没後百年祭実行委員長
夏目漱石「草枕」「二百十日」発表百年
記念事業実行委員会委員長
- 平成二十年 徳永直没後五十年記念事業期成会会長
「徳永直文学撰集」刊行
- 平成二十一年 荒木精之記念文化功労者顕彰
- 平成二十四年 NPO法人ぐまもと文化振興会理事長
総合文化雑誌「KUMAMOTO」発刊